

## 社協の移動販売「いづかし号」だより

【訪問日】 毎週水曜日（原則、祝日もあり）

【販売時間・場所】

10:00 中持会館  
10:25 白山会館  
10:45 釜口漁港前



ご注文品を販売日（水曜日）にお持ちします。  
前日のお昼までにお電話ください。  
商品やご注文のお問い合わせは、  
地域生活多機能拠点「いづかしの杜」  
淡路市仁井 1478 TEL：80-2678 まで。

## 『令和3年度県内、市消費生活相談状況』

令和3年度契約当事者年代比

	兵庫県	淡路市
19歳以下	2.6%	1.7%
20歳代	8.0%	3.4%
30歳代	8.7%	5.5%
40歳代	12.7%	14.7%
50歳代	15.3%	13.3%
60歳代	14.4%	20.5%
70歳代	15.7%	20.5%
80歳以上	9.5%	17.4%
無回答	13.1%	3%

県内の消費生活相談窓口に寄せられた相談件数は約4万7千件と4年連続4万件を超えています。契約当事者の年代の割合を見ると県では60歳以上が全体の約4割（39.6%）、淡路市は全体の約

6割（58.4%）、70歳以上は県で約4分の1（25.2%）淡路市は約3分の1（37.9%）を占め、高齢者の消費者トラブルの占める割合が高いことがうかがえます。ネット通販の相談が増加し、定期購入の相談が過去最多でした。他、宅配便の偽メールや偽サイトのネットトラブル、水回り修理、暮らしのレスキューサービスなど料金や作業内容等でトラブルになったという相談が増加しています。消費生活で困った時は一人で悩まず、お気軽にご相談下さい。

淡路市消費生活センター 0799-64-0999



## ありがとうございます

この広報誌は、皆さんからお寄せいただいた「赤い羽根共同募金」の配分金の一部を活用して発行しています。

## 県民ボランティア活動助成 エントリー受付が始まりました

この助成金は、県民の地域活動への主体的な参加を促し、ボランティア活動の裾野を拡大するとともに、県民自らが行うボランティア活動の支援を通じて、活動の安定的かつ継続的な発展を図ることを目的としています。

### ☆助成額

1グループ・団体あたり3万円が上限の全団体一律同額（エントリー受理数により助成額が決定されるため、減額となる可能性があります）

### ☆エントリー受付期間

令和4年7月1日（金）～8月31日（水）  
今年度、助成金の交付を受けようとするグループ・団体は各市区町社会福祉協議会でのエントリー（事前申込）が必要です。  
申請条件等、詳しくは社協（電話 74-4877）までお問合せください。



## ひまわり作業所からのお知らせ

8月の『こども食堂』の予定

開催日 8月10日（水）  
8月19日（金）  
8月26日（金）



時間 11時30分～13時30分  
場所 わいわいサンリッチ  
（サンシャインホール内）

料金 こども 100円  
大人 300円

コロナウイルスの感染状況により、中止・変更となる場合があります。ご了承ください。

『こども食堂』についてのお問い合わせは、ひまわり作業所（電話 74-0337）までお願いします。

【お詫び】 すまいる 128号でお知らせさせていただいた、こども食堂の大人の利用料金に誤りがありました。正しくは、大人300円です。ご迷惑をおかけし、大変申し訳ありません。

# すまいる ひがしうら

編集・発行：淡路市社会福祉協議会  
地域支えあいセンターひがしうら  
淡路市久留麻 239-1 東浦事務所内  
電話 0799-74-4877  
FAX 0799-75-2025  
Email higashiura@awaji-csw.or.jp



## 第129号

2022年 8月発行

## にぎやかに『セタカフェ』が始まりました



地域の方が届けてくれた笹に、飾りつけをしたり願い事を書いたり、楽しみました



手づくり看板でお出迎え

7月7日、浦地区で『セタカフェ』がオープンしました。今後も毎月1回（第1木曜日）10時から12時まで、井上会館で開催されます。（コロナウイルスの感染状況により、お休みさせていただきます場合があります）

「身近な場所で、誰でも気軽に集まり、おしゃべりを楽しんでんでもらえたら」と、代表の上村さん。

初日は、約30名の方が参加され、久々の再会を喜ばれたり、来月またここで会おうと約束されている方もおられました。

## ～7月はあちらこちらで七夕飾りもありました～

### 久留麻老人福祉センター

久留麻老人福祉センターでも笹を設置し、来館者のみなさんに「セタ」を楽しんでいただきました。

「なつかしい」「気分が晴れる」「願いは何にしよう」と、会話ははずみました。

毎日の暑さ、コロナ不安に気がつかう日々……

少しの時間でしたが、笹飾りを見ながらのみなさんの笑顔が素敵でした。



### コスモスサロン（城原）



少し早めの6月のふれあいサロンで笹飾り。「コロナに負けるな」「健康で過ごせますように」「目標達成できますように」等、それぞれの願い事を短冊に書いてつるしました。楽しい時間を共有し、にぎやかな笹飾りが出来上がりました。

☆この広報誌が不要となった場合は、資源ゴミの「その他の紙類」としてリサイクルにご協力をお願いします☆

## 福祉委員について話し合いをしています

### ～運営委員会だより～



5月～7月の運営委員会では、「福祉委員」をテーマに話し合いをしてきました。きっかけは、昨年度実施した「あんしんネットワーク会議+合同研修会 60分会議」の意見の中で、「町内会役員のなり手がいない」など、町内会運営や人材に関する意見が出たことでした。各地域にはいろんな役職もある中で、このまま福祉委員を委嘱し続けて良いものなのか、同時に、その役割も曖昧になってきているところもあり、一度運営委員会で、歴史や今後について話し合いを行おうということになりました。

まずは、東浦地域における福祉委員制度のはじまり（歴史）について確認しました。

過去の様々な資料を探していると、旧東浦町時代に発行されていた「ふくしひがしうら」に興味深い記事が掲載されていました。記事の一部を紹介させていただきます。

当時の紙面です →

#### ふくしひがしうら No.23 (平成4年6月発行)

健康福祉まつりで

「地域福祉を考えるつどい」を開催  
＜講演趣旨＞

- ①従来の社会福祉は「生活保護施設福祉」が主であったが、今後は「地域福祉、在宅福祉サービス」が主流を占めるようになる。
- ②福祉問題は、一部あるいは特定の人の問題ではなく、「みんなが福祉の対象者＝みんなが福祉の担い手」の時代へ変化してきている。
- ③「だれでも、どこでも、いつでも、すぐに」福祉を気軽に活用できるように活用できるような体制づくりを急がなければならない。
- ④過去、福祉といえば「お世話になる」とか「受ける」といった暗いイメージがあったが「お互い様」といった感覚をみんなで持ち合うことの大切さ。
- ⑤個別のかつ身近なところで具体的に手を差しのべることのできるシステムづくり。
- ⑥個人の善意や気配りを組織的な活動にしていくこと。

この講演趣旨を運営委員会の中でも紹介したところ、「同じようなことが現在においても求められているのではないか」「この考え方が平成8年から始まる福祉委員制度の1つの裏付けやきっかけになったのではないか」との意見があがりました。

同時に、「これからどのように暮らしていきたいか」ということをテーマにして、意見交換も行いました。

運営委員さんからは、

- ・元気に、家族友人と仲良く暮らしていきたい
- ・少しでも長く自宅で暮らしたい
- ・自分の足で歩きたい
- ・好きな時に集まってしゃべれる場所
- ・思いやり、正しい理解



などの意見が出ました。そこから読み取れることは、「住み慣れた地域・自宅で自分らしく楽しく暮らしていきたい」という多くの人の願いです。これは、福祉委員の開始当初に作成された「福祉委員ハンドブック」の中にも明記されている事柄でもあり、改めて大切にしていきたいことがわかります。

これらの経緯を踏まえて、当時、町全体をあげて作った福祉委員制度をなくしてしまうのはもったいないのではないかと、気軽に・身近に・負担なく受けてもらえるものであれば良いのではないだろうかとの声もあり、今の時代にあったものに変えていきながら、福祉委員制度を続けていくことが必要ではないかとのことになりました。

当初の役割を大切にしながら、かつ、まわりまわって自分自身の生活の豊かさにもつながるような役割等について引き続き話し合いを続けていきます。具体的な役割等のご紹介は、来月号以降になりますが、案の段階で運営委員さんからは、「近くに協力者がたくさんいるという安心感がある」「相談しやすい人はその人によって違う」などの意見もありました。

また、福祉委員をきっかけに、役を終えた後も地域を気にかけるような人が増えたり、「お互いさま」の意識を持つ人が一人でも多く増えていくといいなと思います。

紹介します。地域のふれあいサロン。

## ふれあいサロン『ゆり』

7月14日、戎の丁会館でふれあいサロンが開催されました。この日は、大塚製菓の社員さんより「高齢者のための熱中症対策」についてお話していただきました。今年は昨年比、すでに3倍の方が救急搬送をされており、そのうち半数以上が高齢者の方で、発生場所は家の中が一番多いそうです。熱中症になるリスクは誰にでもあります。高齢になると体に変化があり、暑さやのどのかわきを感じにくくなる場合があります。

また、熱中症は自分で気づきにくいので周りで気かけあうことが大切だとお話いただきました。

こまめな水分補給、日々の体調管理、無理をしない等、熱中症にならないようお互い気をつけようと、声をかけあっておられました。感染対策もしつつ、熱中症対策にも注意が必要です。



## 淡路市共同募金委員会からのお知らせ



赤い羽根募金百貨店

### みんなの気持ちがあぐるぐるプロジェクト

赤い羽根募金百貨店「みんなの気持ちがあぐるぐるプロジェクト」は、募金付き商品を企画された参加店舗が、地域のためになる商品をアピールしながら、淡路市の福祉活動を応援する、地域支援につながる新しいカタチの募金です。6月1日から6月末まで、合わせて8,216円のご寄付をいただきました。お買い物いただいたみなさま、協力いただいた店舗のみなさま、ありがとうございました。

#### \*募金百貨店プロジェクト参加店舗\*

(株)樫岡石油様(大谷) ㈲大正あん様(志筑)  
麵屋 ZOE 様(志筑) 一宮オイル㈲様(多賀)  
萩美容室様(志筑) やき焼亭様(志筑)  
カットハウスロング様(佐野)

## きいてきいて!みなさまからの投稿コーナー

このコーナーでは、みなさまから寄せられた、誰かに伝えたい「感動したこと、うれしかったこと、最近思うこと」等を、紙面を通じてお伝えしていきます。

最近の私の生活は、老人福祉センターでボランティアをさせて頂き、お茶のお世話や、仲間とおしゃべりをしたりしながら、楽しい時間を過ごしております。

高齢になってきている現在でも、友人と外食をしたり、おしゃべりをしたりと、コロナ禍の現在ですが、なるべく引きこもらず、工夫をしながら楽しく、一日でも元気で過ごせるようお願いながら日々の生活を送っています。

(80歳代 浦地区)

## 手作り募金箱大募集!

淡路市内の小学生を対象に、  
手作り募金箱を募集しています。

応募作品: 「赤い羽根」または「共同募金」を表示した手作り募金箱

応募点数: ひとり1作品

応募方法: 最寄りの地域支えあいセンターに  
8月22日から9月9日までに提出

参加特典: 応募された方全員に、  
あかはねちゃんグッズをプレゼント!

\*製作された募金箱を、  
10月1日からの共同募金運動で活用します。

みなさんの応募お待ちしております!

